

競技注意事項

- 本大会に適用する規則は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則および大会規定による。
※ 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、サークルから行われる投擲種目に関しては、TR5.2 の適用を除外する。
- ウォーミングアップについて
 - ウォーミングアップは、バックスタンド下屋内練習場を利用する。一日目9時45分、二日目9時15分までは、競技場トラックを利用することができる。ただし、開会式の最中は、バックスタンド下屋内練習場を利用すること。サブトラックは使用できない。
 - 公式練習以外の投てき練習は、一切禁止する。
- 招集について
 - 招集所（競技者係）は、メインスタンド1Fロビーに設ける。
 - トラック競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻20分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その際、1500mは腰ナンバーカードを、3000m以上の競技では別ナンバー・腰ナンバーカードを受け取る。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - フィールド競技は、競技開始時刻2時間前から競技開始時刻40分前までに、競技者係でコール用紙に○をつける（一次コール）。その後、競技開始時刻25分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - 混成競技は、1日目・2日目共、第1種目前に招集場で招集用紙に○を付ける（一次コール）。トラック種目の場合は20分前・フィールド種目の場合は40分前とする。2種目以降は、一次コールはなし。現地で競技役員の点呼（二次コール）を受ける。1500mの腰ナンバーは各校で準備する。
 - リレーオーダー用紙は、二次の招集完了時刻60分前までに競技者係に提出する（一次コール）。用紙は競技者係に準備してある。その後、競技開始時刻5分前に現地で最終コールを行う（二次コール）。
 - 最終コール（二次コール）の代理人は認めない。多種目出場する競技者の招集時間や試合時間が重なる場合は、本人が最初の種目の一次コールの際に申し出て、指示を受けること。
- 競技について
 - トラック競技
 - レーンは、プログラム記載のレーンとする。
 - スタートはイングリッシュコマンドを用い、1回の不正スタートで失格とする。明らかな不適切行為でないと審判長またはスターター主任が判断した場合は、審判長またはスターター主任がグリーンカードを呈示して当該競技者に注意を与える。
 - ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。800mまでの競技の腰ナンバーは、各校で準備すること。
 - 決勝の組み合わせレーンは、番組編成員が決定し、招集所に掲示する。
 - フィールド競技
 - 試技は、プログラム記載番号順とする。
 - 跳躍種目のナンバーカードは、胸か背どちらか一方だけでよい。
 - 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記の通りである。練習の高さは、審判員の判断で行う。

走高跳 男	(練) 1.40	1.45 - 50 - 55 - 60 - 65 - 70 - 75 - 80	以降3cmきざみ
走高跳 女	(練) 1.10	1.15 - 20 - 25 - 30 - 35 - 40 - 45 - 50	以降3cmきざみ
走高跳(八)	(練) 1.25	1.30 - 33 - 36 - 39 - 42 - 45 - 48	以降3cmきざみ
走高跳(七)	(練) 1.00	1.05 - 08 - 11 - 14 - 17 - 20 - 23	以降3cmきざみ
棒高跳 男	(練) 1.90	2.00 - 10 - 20 - 30 - 40 - 50	以降10cmきざみ
棒高跳 女	(練) 1.70	1.80 - 90 - 2.00 - 10 - 20 - 30	以降10cmきざみ
- 競技用具について
 - やり以外は、主催者が準備したものを使用しなければならない。
 - やりは、検査を受けて自己のやりを使用できる。
検査は、2日目8:40から10分間
100mゴール地点の用器具庫前にておこなう（混成競技、女子やり投も同時刻）
- その他
 - 競技中に発生した傷害・疾病についての応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
 - 貴重品は、各自・各チームで管理すること。万一被害にあっても主催者は責任を負わない。